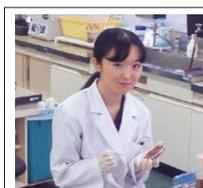


今月の笑顔

新入職員紹介コーナーです。平成29年度4月～9月から新たに当検査センターの正職員として業務に当たっている10名を、毎月2名ずつご紹介いたします。新社会人として、先輩職員達の励ましの中で、職場に馴染んできています。

♥ 3人目



つねかわ ゆか
常川 由佳
所属：検査科微生物係
入職：平成29年4月

※普段はマスクを着用して検査をしています。

入所後、新人研修と検査科での研修を終え、微生物係に配属されました。

新人研修では、社会人としてのマナーや、様々な部署について学び、より検査センターのを知ることができました。特に、検体が病院から届くまでの過程を実際に見て学ぶことができたため、ただの検体として扱うのではなく、患者さんから採取されたものであるということを実感することができました。検査科での研修では、どの部署でもミスの無いようダブルチェックを徹底していて、また効率よく仕事ができるよう工夫されていると感じました。

配属された微生物係での業務は、学ぶことが多く覚えることが大変ですが、それと同時にやりがいも感じています。まだ覚えきれていない部分があったり、ミスをしてしまったりといったことがあるため、気を付けていこうと思っています。これからの業務では、検体処理を迅速かつ正確にし、ミスの無いように仕事に取り組んでいけるよう常に心がけていきたいと思っていますのでよろしくお願ひ致します。

♠ 4人目



みやま ひでひさ
三山 英久
所属：検査科生化・免疫係
入職：平成29年4月

※普段はマスクを着用して検査をしています。

私は入所後、5日間の新人職員研修と約1ヵ月の検査科の研修を終え、6月から生化・免疫係に配属され、主に先天性代謝異常検査の仕事をしています。新人職員研修では、検査科以外の部署について知ることができ、全ての部署が検査に関わっていることを学びました。

先天性代謝異常検査室では、生後5～7日の全ての赤ちゃんに先天性の疾患があるかないかを調べる新生児マススクリーニングを行っています。広島県では、広島市医師会臨床検査センターでしか行っておらず、また全国でも代謝異常検査を担当している技師は120人ほどしかいないそうです。

業務では、限られた時間内で効率よく精度よく作業するためにも先輩や上司からアドバイスを貰い、ムダのないように仕事を進めるためにも毎日が勉強です。

まだ未熟ですが、検査センターの一員として検査センターを支えられる検査技師になれるよう、精一杯努力していきたいと思っていますのでどうぞよろしくお願ひ致します。

*引き続き次号以降も、残る新入職員6名の“笑顔”をお届けいたします。